

壹、次の手紙を中国語に翻訳しなさい (40%)

橋本浩三様

十月に入り、京都もすっかり秋らしくなってきました。橋本さんは、
いかがお過ごしですか？

先月、トルコからアーメット (Ahmet) が日本に来て、京都にも
寄りました。僕は都合がつかず、残念ながら会えませんでした。が、
最近、彼は結婚したそうです。また、夏に後藤さんとも会う機会が
ありました。大阪で税理士として働いていますが、とても元気そうです。

最近 とてもおもしろい本を読みました。

書名：戦争広告代理店

著者：高木 徹

出版社：講談社

ボスニア紛争 (ユーゴスラビア内戦) の舞台裏を取材したものです。
ボスニア紛争では、セルビア人が悪者というイメージが国際的に作られて
いますが、実はセルビア人と対立するボスニア政府がアメリカのPR会社を
雇って、「セルビア人=悪」という国際世論の流れを作ったというのです。
日本ではPR (Public Relations) 会社というものはほとんど知られておらず、
このような活動をする会社はありません。この本に登場するアメリカのPR
会社は、アメリカ連邦議会の議員、ワシントンの官僚、各種圧力団体、
ユダヤ人社会、そして欧米のマスメディアを巧みに操作し、紛争当事者
の一方に有利な情報を送り続けるのです。もう本当に驚くばかりです。
この本の著者はNHKの番組ディレクターで、二年前にこの本の内容と同じ
ものがNHKのドキュメンタリー番組として放送されました。戦争をも動かし
PR会社という存在に、倫理的な疑問を感じずにはいられません。他方、
国際社会でのPRの下手な日本は、今後、この方面の能力をもっと高め
なければならぬと痛感しました。PR能力が、一つの国の運命を左右
するという現実には、緊張感を覚えました。

それでは、お元気で。

2002年10月1日

谷 幸治

(背面仍有題目, 請繼續作答)

貳、次の語彙にフリガナを付けなさい (20%)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 京都 | 11. 登場する |
| 2. 都合 | 12. 連邦議会 |
| 3. 税理士 | 13. 欧米 |
| 4. 働いて | 14. 巧みに |
| 5. 代理 | 15. 操作し |
| 6. 舞台裏 | 16. 番組 |
| 7. 取材した | 17. 動いて |
| 8. 要者 | 18. 倫理的な |
| 9. 雇って | 19. 下手な |
| 10. 国際世論 | 20. 左右する |

参、翻訳 (40%)

法の現実を知るためには、判例だけでは十分ではない。社会的に重要な問題でも、訴訟にならなければ判例は生じない。和解で解決する場合も同様である。我が国では訴訟を回避する傾向が強いため、判例だけで法の現実を知るのは困難である。とくにどんどん新型の契約が出ている契約法の領域がそうである。そこで、この領域では社会的事実の調査が必要となる。そのためには本来は専門家の指導による本格的な調査が必要ではなれないが、ゼミのレポートや卒論のクラスでは、そこまで期待するわけにはいかない。せいぜい聞き取りや簡単なアンケート以上には出ないであろう。それでも、卒論制度のある大学の同僚教授の話によると、実態調査をふまえた論文は、ありまじりの解釈論文に比べ、はるかに興味深いものが多いとのことである。

社会的事実の調査に関しては、各種統計資料を使って量の分析をすることも必要である。そのことにより、結論の正当性についての客観的なデータが得られるからである。